

令和6年度学校評価自己評価一覧表（校務分掌、学年団）

目 標		① 授業を大切に、向学心に燃える 笠高生		⑤ あいさつや言葉遣いに、気配りできる 笠高生		A よくできている	
= 目指す 生徒像		② 自分の目標を持ち、その実現を目指す 笠高生		⑥ 清楚な服装・身だしなみの、さわやかな 笠高生		B だいたいできている	
		③ 部活動で自己を鍛え、互いに切磋琢磨する 笠高生		⑦ 地域社会に貢献する、意欲と行動力にあふれた 笠高生		C 少しできている	
		④ マナーや時間を守り、規律のある 笠高生				D ほとんどできていない	
分 掌	目標番号	項 目	目標実現のための具体的方策			評 価	備 考
				10月	2月	総合	
総 務 部	④	防災意識の向上と身の回りの備品を大切にできるようにする	・防災訓練では事前に避難経路を周知徹底し、素早く避難行動がとれるようにする。 ・ロッカーや机、椅子などの備品を大切にすることを通して、規律ある学校生活を送る基礎を身につけさせる。また備品は傷つけることのないように、常に生徒に呼びかける。	A	B	B	
教 務 部	① ④	基礎学力の向上と学習習慣の定着 授業に取り組む姿勢の確立	・基礎学力の向上を目指し、課題等を活用して学習習慣の定着を図る。 ・10分間勉強を充実させることで、生徒の基礎学力向上と落ち着いて学習に取り組む習慣を身につけさせる。 ・ICTの活用も視野に入れ、授業の充実を図ることによって、生徒の興味関心に繋がる分かる学習指導を推進する。 ・授業の始まりのチャイムを守る。 ・出欠状況の把握や保健室利用等の情報の共有に努め、個々の生徒に対して迅速な対応ができるようにする。	C	B	B	
人 権 ・ 同 教 育 部	⑤⑦	生徒・保護者の人権意識向上 地域との交流	・人権・同和教育LHRにおける学びが生徒の心に残るものとなるように内容を充実・発展させる。 ・人権通信(教職員版)(生徒・保護者版)の発行やPTA新聞への投稿、文化祭での人権展、人権講演会などを通した啓発に努める。 ・上高野文化センターや上高野児童館における文化祭への参加や交流活動を行い、地域の方々と触れ合うことで人間的なつながりを深めるとともに、社会とのつながりの中で自尊感情の醸成に繋げていく。	B	B	B	
特 別 活 動 部	③⑦	部活動の活性化 地域社会へ貢献	・学校行事や部活動、及びボランティア活動等、生徒が積極的に活動できる環境作りに努める。 ・笠高生として学校や地域社会に貢献する。 ・生徒主体の生徒会を確立する。 ・メンバー全員で生徒会業務に関わる。	B	B	B	
生 徒 指 導 部	④⑤⑥	遅刻の減少 携帯電話のマナーを守らせる 基本的生活習慣を身につけさせる	・遅刻を減らし時間を守るようにすることで、授業規律を確立する。 ・携帯電話の使用については社会におけるマナーを理解し、マナーを守る笠高生を目指す。 ・挨拶をはじめ、服装や身だしなみを整えるなど基本的生活習慣を身につけ、コミュニケーションがとれ、礼儀正しく前向きな笠高生を目指す。	C	C	C	
教 育 相 談 部	②	自己理解のための支援 課題解決のための援助	・生徒が自分の気持ちや考えを整理して、表現できるように支援していく。 ・学校生活の様々な場面で、生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ・担任や関係職員、保護者と連携し、情報共有できるように活動することを心がける。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門的知識や経験も活かすことができるように連携の効果的促進を目指す。	C	B	B	
進 路 指 導 部	②	進路意識の向上(1,2年)と 進路実現(3年)への支援	・各学年に応じた計画指導計画に従い、具体的な将来の目標を持てるように進路意識を高め、進路を明確化できるよう支援する。(1,2年) ・1学期に進路指導関係の行事を集中させて、進路志望先を決定させる。2学期はさらに個に応じた指導・助言により、進路決定に向けての支援をする。(3年)	B	B	B	
保 健 部	②	積極的な健康作りの推進・安全意識の高揚を図る	・日常生活の中で生活リズムを大切にし、基本的生活習慣を身につけさせる。 ・健康診断を自らの健康状態を知る契機とし、健康への意識を高める。 ・心の健康や性に関する指導を適切な時期に実施する。 ・適切な感染症対策を実施する。	B	B	B	
農 場 部	⑦	農業のスペシャリストとして、地域社会に貢献できる生徒の育成	・各学科の知識・技術の学習を深めながら、専門的な基礎・基本事項の確実な定着を図る。 ・交流活動や地域連携行事等の指導・援助を積極的に行うことで、笠高生としての自尊心を持たせる。	B	B	B	
家 庭 部	②	主体的に学び、専門性を高めるための努力ができる生徒の育成	・授業を大切にし、意欲的に知識や技術を身に付けるよう取り組ませる。 ・家庭科技術検定や各種コンクールに積極的に取り組みせ、専門性を高めるよう指導する。 ・家庭科の備品を大切に扱うよう留意させる。	B	B	B	
1 年 団	①④	規律ある生活習慣の確立 向学心の育成	・円満な人間関係を構築する第一歩となる挨拶を習慣づける。 ・学級活動や学校行事、部活動への積極的参加を通して集団への所属意識を高め、集団生活における礼儀や心配りを涵養する。 ・授業規律を確立し、自ら学ぶ意欲を育てる。	B	B	B	
2 年 団	④⑤⑥	高校生としての自覚に基づいた行動をさせ、周りのことを考えた生活を送らせる	・「ルールやマナーを守る」ということを常に心がけさせる・自ら決められた時間に従って行動し、身だしなみや言葉遣いに気を遣うことができるよう指導する。 ・提出物を締め切りまでにきちんとして出させる。	B	B	B	
3 年 団	②④⑥	進路実現に向けて、自ら努力をするとともに社会性を養う	・自らの希望する進路を実現させるために、基本的な学力を身に付ける。 ・社会人として周囲から認められる人物になるために、ルールやマナーを守り基本的生活習慣を確立する。	B	B	B	